

記入例

(様式第1号の2)

創業活動計画書

※同事業で申請人が複数いる場合は、申請人ごとに本計画書を作成してください。
 ※その場合、「申請人氏名(所名)」、「1 申請人の概要の(1)～(4)」以外は、同じ内容で構いません。

アルファベットまたは漢字表記

2016年1月29日

申請人氏名 Ichiro Tokyo 印
 署名 (Ichiro Tokyo)

サイン
又は印鑑

1 申請人の概要

(1) 創業の動機及び将来の展望 (東京都で創業する動機を含む) これまでA社やα社など、介護業界での勤務経験を活かし、世界に通用する介護ロボットを開発したい。 東京都で創業する理由は、過去に新宿大学に留学した経験や、ロボット開発・介護分野で日本を代表する関連企業が複数あり、研究者などの人材も豊富であるため。			
(2) 事業における申請人の役職・役割 代表取締役社長 経営全般を統括管理する。			
(3) 創業の背景となる資格、職歴、特殊技能、保有特許など 大学及び大学院でロボット工学を専攻(D.Eng.取得)。その後、地元のロボット開発会社で10年間、介護用ロボットの開発に従事した。			
(4) 本事業に共同で申請する方がいる場合は、その申請人の氏名を記載してください。 Hanako Shinjuku			
(5) 創業の予定 ※創業時に想定されるものを記載してください			
a 開業予定日	2016年7月15日 ※法人登記日、開業届出日など		
b 業種	福祉保健関連産業		
c 提供する商品・サービス	介護ロボットの企画、開発、製造及び販売		
d 事業所開設場所	東京都新宿区西新宿・・・		
e 資本金 (または自己資金)	3,000 千円		
f 株主構成 (持分比率)	株主名	住所	持分比率
	Ichiro Tokyo	・・・・・・・・・・・・・・・・	70%
	Hanako Shinjuku	・・・・・・・・・・・・・・・・	30%
	合計		
g 役員 ※申請人以外	氏名: John Smith		国籍: USA
	住所: 東京都新宿区・・・・・・・・		役職: 取締役
h 従業員数	社員 4名、パート・アルバイト 3名、計 7名		

2 事業の概要

<p>(1) 実施する事業の概要 (商品・サービスの概要)</p> <p>○介護用ロボットの企画、開発、製造、販売及びレンタル 介護用ロボット「助けるくん」の企画、開発、販売、レンタル。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該ロボットは、車いすからベッドへの移動時や被介護者を抱きかかえる時などにおいて、スムーズな移動ができるよう、補助するものである。これにより、介護者の腰痛等になるリスクを低減できる。 ・会話機能を設けることで、被介護者と簡単な日常会話ができるようにする。
<p>(2) 商品・サービスの販売・提供方法 (販売先、販売方法、販売単価等)</p> <p>○販売・レンタル先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護施設 ・病院 <p>○販売方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設関係者等の紹介による、販路拡大 ・インターネット販売 <p>○販売単価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一セット 1,000,000 円 ・ロボットを広告宣伝媒体と位置づけることで、広告宣伝費収入 (1,000 千円) を見込む
<p>(3) 商品・サービスの製造元、仕入先、協力者や原価率、原価の内訳</p> <p>介護用ロボットは、自社で開発・製造 ※事業が軌道に乗るのは、3年後の想定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 78,000,000 円 ・広告費 (雑誌掲載) 5,000,000 円 ・材料費 30,000,000 円
<p>(4) 必要となる経営資源 (事業資金、事務所、設備、ライセンス、従業員等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロボット開発スタッフ ・開発機材 (例: PC、開発機材、等) 3,000,000 円/年 ・事務所兼工場 200 m²程度 家賃 6,000,000 円/年
<p>(5) 収益を上げることが可能な理由、東京の市場における競合他社との差別化要因 (革新的な技術、商品、サービス、ビジネスモデル等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京の人口推移をみると、2025年には65歳以上の高齢者が4人に1人となる。また、高齢化率が2010年の20.4%から2060年には39.2%に上昇する。そのため、介護を必要とする高齢者も増えることが見込まれ、市場規模の拡大が期待できる。 ・大学院在籍中に、ロボット工学に関する賞を受賞したことがある。 受賞内容: ・大学や研究機関と提携することで、最新の研究成果を開発に生かすことができる。

3 創業活動の工程表

申請日以降、創業のために行う準備の状況を明らかにしてください。

(所持している資金、資金調達、投入する資金、事業所及び設備、従業員、販売先開拓、仕入先/取引先、販売商品・サービス、許認可の資格取得、法人登記など)

時点	創業活動状況	必要経費
申請時点	<ul style="list-style-type: none"> 所持している資金 3,200,000 円のうち、創業活動における資金は 2,000,000 円。 開発機器等は、既に購入済み。 7月の創業に向け、金融機関から資金調達を予定。 介護ロボット「助けるくん」のベータ版を開発中。 ロボット工学を専攻する大学生・社会人のインターンシップを募集中。 	ベータ版開発費 100,000 円 インターン求人費 30,000 円
2016年2月 (1月目)	<ul style="list-style-type: none"> ベータ版をリリース インターンシップを採用 	ベータ版広報宣伝費 80,000 円 ベータ版運営費 50,000 円
2016年3月 (2月目)	<ul style="list-style-type: none"> ベータテストの結果を集約し、正規版開発に着手 シェアオフィスへの入居申込 開発用機器購入 	インターン報酬 80,000 円 正規版運営費 100,000 円 機器購入費 200,000 円
2016年4月 (3月目)	<ul style="list-style-type: none"> 正規版開発 シェアオフィスへの入居 介護関連企業等への営業活動 社員の雇用を検討(インターンが有能なら雇用) 	インターン報酬 80,000 円 正規版運営費 100,000 円 シェアオフィス賃料 30,000 円
2016年5月 (4月目)	<ul style="list-style-type: none"> 正規版開発 介護関連企業等への営業活動 法人設立申請準備 	インターン報酬 80,000 円 正規版運営費 100,000 円 シェアオフィス賃料 30,000 円
2016年6月 (5月目)	<ul style="list-style-type: none"> 正規版開発 介護関連企業等への営業活動 法人設立申請準備 社員雇用 	インターン報酬 80,000 円 正規版運営費 100,000 円 シェアオフィス賃料 30,000 円
2016年7月 (6月目)	<ul style="list-style-type: none"> 15日に法人登記を予定 介護ロボット「助けるくん」の正規版をリリース 介護施設等への営業活動 状況に応じてアルバイトを募集 	正規版広告宣伝費 50,000 円 正規版運営費 80,000 円 社員給与 200,000 円 シェアオフィス賃料 50,000 円

4 利益計画

法人設立（開業）予定日 **2016** 年 **7** 月 **15** 日（予定）

単位：千円

決算期（6月末）予定	第1期	第2期	第3期
a 売上高	50,000	70,000	150,000
介護ロボット売上高	30,000	50,000	100,000
介護ロボットリース収益	19,000	19,000	49,000
その他(広告宣伝収入)	1,000	1,000	1,000
b 売上原価（材料費、労務費、経費、外注費など）	24,000	31,800	59,800
材料費	9,000	15,000	30,000
労務費	10,800	11,800	21,000
外注費	3,200	3,900	7,000
減価償却費	100	100	100
その他製造経費	900	1,000	1,700
c 売上総利益（a-b）	26,000	38,200	90,200
d 販売費及び一般管理費	29,800	35,600	70,500
広告宣伝費	1,000	2,000	5,000
地代家賃	6,000	6,000	6,000
人件費	21,600	25,800	57,000
減価償却費	100	100	200
その他販売費及び一般管理費	1,100	1,700	2,300
e 営業利益（c-d）	-3,800	2,600	19,700
f 支払利息	200	200	200
g 経常損益	-4,000	2,400	19,500
h 特別損益	-50	-1,510	-250
i 税引前当期利益	-4,050	890	19,250
j 税引後利益	-4,050	534	11,550

※法人税率は、40%で固定すること

4

※繰越欠損金は、適用しないで計算すること

5 資金計画

法人設立（開業）予定日 **2016** 年 **7** 月 **15** 日（予定）開業時の手持ち資金（現金預金残高） **2,900,000** 円（予定） 単位：千円

決算期（6月末）予定		第1期	第2期	第3期
資金 使 途	不動産 （土地、建物等の 取得、売却）	—	—	—
	設備 （機器、備品等）	400	600	1,000
	借入金返済	1,000	1,000	1,000
	借入金支払利息	200	200	200
	その他	1,100	1,700	2,300
	資金支出合計	2,700	3,500	4,500
	資金 調 達	税引後利益	-4,050	534
減価償却費		200	200	300
特別損益		50	1,510	250
営業外損益		200	200	200
新規借入金		10,000	—	—
自己資金繰入		—	1,000	—
その他		—	200	—
資金収入合計		6,400	3,644	12,300
当期資金収支	3,700	144	7,800	
差引（現金預金残高）	6,600	6,744	14,544	

労務費と人件費の明細

【単位：千円】

種別(人数及び支払 給与)	明細	第1期	第2期	第3期
経営陣	工場職員	0人	0人	0人
	本社職員	2人	3人	3人
	一人当たり平 均支出額	5,000	7,000	10,000
	労務費	0	0	0
	人件費	10,000	14,000	30,000
	総額	10,000	14,000	30,000
正社員	工場職員	2	2	3
	本社職員	2	2	4
	一人当たり平 均支出額	5,000	5,000	6,000
	労務費	10,000	10,000	18,000
	人件費	10,000	10,000	24,000
	総額	20,000	20,000	42,000
パート	工場職員	1	2	3
	本社職員	2	2	3
	一人当たり平 均支出額	800	900	1,000
	労務費	800	1,800	3,000
	人件費	1,600	1,800	3,000
	総額	2,400	3,600	6,000
労務費合計		10,800	11,800	21,000
人件費合計		21,600	25,800	57,000

6 資金繰り表

単位：千円

		年 月		2016.7	2016.8	2016.9	2016.10	2016.11	2016.12
前月繰越（金）(A)				2,900	8,850	6,250	6,050	5,400	5,100
営業 収入	現金売上			1,000	2,000	4,000	4,000	4,000	4,000
	売掛金の回収			0	1,000	2,000	2,000	2,000	2,500
	受取手形の期日入金								
	前受金の入金								
	その他の入金								
	収入合計（B）			1,000	3,000	6,000	6,000	6,000	6,500
営業 支出	現金仕入			1,000	1,000	1,500	1,500	1,500	1,500
	買掛金の支払			0	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	支払手形の期日決済								
	未払金の支払								
	設備支出			100			100		
	広告宣伝支出			250			250		
	支払家賃			500	500	500	500	500	500
	人件費支出			2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700
	外注費支出			200	100	200	300	300	300
	支払利息								100
	その他の支払			300	300	300	300	300	300
支出合計（C）			5,050	5,600	6,200	6,650	6,300	6,400	
差引過不足（D）=B-C				-4,050	-2,600	-200	-650	-300	100
財務 収 支	借入			10,000					
	手形割引								
	借入金返済								
	その他								
	財政収支合計（E）			10,000	0	0	0	0	0
当月差引金額（F）=D+E				5,950	-2,600	-200	-650	-300	100
次月繰越（金）(A+G)				8,850	6,250	6,050	5,400	5,100	5,200